

コード	103020106
記入日	H23.6.1

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	永田 裕宗

事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道青砂ヶ浦部落内9号線新設事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費(道路)	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	道路法、道路構造令	

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者	(対象2)	(対象指標1) 地区住民の数	45人			(対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・ 全体改良延長 L=84m ・ 幅員 W=4.0(5.0)m ・ 全体事業費 88,735千円	・ 改良延長 L=84m ・ 幅員 W=4.0(5.0)m ・ 事業費 38,900千円 ・ 土工 V=1,770m ³ ・ 法覆工 A=466m ² ・ 擁壁工 L=80.5m ・ 排水工 L=46.3m ・ 舗装工 A=502m ² ・ 交通安全施設工 L=407.7m ・ 防護柵設置工 L=40.5m	① 新設延長	84m	100%	新設延長+計画延長	平成22年度
		新設延長	84m	100%		平成22年度
		(達成率分析)	本年度の計画延長は84mとしていたが実施も84mで完成となった。			
		②	(達成率分析)			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率(上段：全体、下段：評価年度)				
・ 本路線は、当該地区内に通じる道路としては里道しかなく、車両の乗り入れが困難な状況である。このため、道路を新設し、緊急・福祉・衛生車両等の乗り入れを可能にすることにより住民の生活環境の改善と福祉の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 進捗率	88,735千円	100%	事業費+全体事業費	平成22年度
		進捗率	38,900千円	110%		平成22年度
		(達成率分析)	工事着工から本年度まで事業は計画どおり進み完成となった。			
		②	(達成率分析)			

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 22		21年度以前	22年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① m	84	84	0 (69.8)	84	84	
	②						
成果指標	① %	100	100	56	40	44	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	89,272	92,935	52,635	36,637	40,300	
直接事業費 A	千円	85,072	88,735	49,835	35,237	38,900	
人件費 B	千円	4,200	4,200	2,800	1,400	1,400	
内訳	従事職員数	人	0.6	0.4	0.2	0.2	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円					
	起債	千円	75,800	84,200	47,300	28,500	36,900
	その他	千円					
一般財源	千円	13,472	8,735	5,335	8,137	3,400	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	道路の安全性・利便性については、普遍的なものであり町が行う必要がある。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	道路の利用者とする事で適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保された。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	計画どおり実施された。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保できない。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	道路管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	計画どおり事業目的を達成できた。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2 次 評 価	道路環境整備は、地域住民の安全・安心を確保するものであり、今後も地域の意見を把握しながら、また道路管理責任を果たすものとして、計画的な道路整備を進めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。